| 区分48 | 専門分野<br>生理学的検査 | 授業科目名 | 臨床生理検査学① | 単位数 | 1単位<br>（20時間） |
|---|---|---|---|---|---|
| 開講時期 | 3年　後期 | 担当教員 | 松田　一之 | 担当教員の実務経験 | 有・無 |

**◆実務経験の内容**

1982年～長崎市立市民病院にて、病理検査、輸血・移植検査、免疫検査、微生物検査、緊急検査業務など検体検査全般を担当。1997年～長崎市立市民病院にて、循環器系検査、神経・筋機能検査、呼吸器系検査、感覚機能検査、画像検査など、生理機能検査全般をを担当。2010年～長崎みなとメディカルセンター（旧長崎市立市民病院）にて、臨床検査部技師長業務の傍ら超音波検査など生理機能検査全般を担当。2015年～長崎みなとメディカルセンター事務部にて、診療報酬関連、病院経営管理などを担当。以上、39年間の病院勤務実績あり。

**◆授業の目的・目標**

国家試験に対応できる下記の知識を身につける。
・心電計の構成、アーチファクト対応、心電図波形の計測、異常心電図の判読・対応
・運動負荷心電図、ホルター心電図、加算平均心電図の適応と方法
・心音図検査における心雑音と心疾患の関係、脈管疾患検査の臨床的意義と方法、結果の解釈
・脳波、筋電図、感覚機能検査の適用と方法および結果の解釈

**◆授業の概要・授業方針**

・国家試験過去問や模擬試験問題を解説し理解を深める。
・暗記が必要な図表や重要ポイントを示し、小テストで確認する。
・画像問題対策を強化する。

**◆テキスト・参考資料等**

・最新臨床検査学講座「生理学」第１版　（医歯薬出版）
・最新臨床検査学講座「生理機能検査学」第2版　（医歯薬出版）
・必要に応じて資料を配布する。

**◆成績評価の方法**

卒業認定試験で臨床生理学の科目点6割以上、または総合点で6割（120点）以上を合格とする。

| 授業計画 | | チェック欄 |
|---|---|---|
| 第１回 | 第1～5回校内模擬試験　解説 | |
| 第２回 | 心電図重要ポイント | |
| 第３回 | 第1回医歯薬模試　解説 | |
| 第４回 | 心電図ケーススタディー（不整脈、虚血性心疾患など） | |
| 第５回 | 心雑音と心音図・心エコー図重要ポイント | |
| 第６回 | 脈管疾患検査重要ポイント、ケーススタディー（ABI、PWV、FMDなど） | |
| 第７回 | 脳波重要ポイント、脳波ケーススタディー（てんかんなど） | |
| 第８回 | 第1回研修協会模試　解説 | |
| 第９回 | 筋電図重要ポイント、筋電図ケーススタディー（針筋電図、神経伝導検査など） | |
| 第１０回 | 感覚機能検査重要ポイント、ケーススタディー（眼底、聴力検査など） | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |